

No.12 夏（6月～8月） 高温

[沖縄地方全域]

[気象概況]

夏（6月～8月）の沖縄地方の地域平均気温平年差*は+0.8℃で、統計を開始した1946年以来2番目に高い値を記録した（2位タイ）。特に8月は記録的な高温となり、沖縄地方の地域平均気温平年差*は+1.4℃で、統計を開始した1946年以来最も高い値を更新した。

(*地域平均気温平年差：那覇、久米島、宮古島、石垣島、与那国島の5地点の平均気温の平年差を平均した値)

夏の大気の流れは、平年に比べて、太平洋高気圧の日本の南海上への張り出しが強く、また、特に8月は上空のチベット高気圧も沖縄・奄美方面へ強く張り出した（「No.11 8月 少雨」の8月の大気の流れの模式図を参照）。このため、沖縄地方では日照時間が多くなるとともに、下降流の強まりによる昇温、そして、太平洋高気圧の縁辺に沿った西からの暖かい空気の影響を受け、記録的な高温となった。

日最高気温は伊是名で36.0℃（7月30日）を観測するなど、県内の観測所では日最高気温35℃以上の猛暑日を延べ17回観測した。また、日最高気温30℃以上の真夏日の継続日数は那覇で85日、久米島で85日となり、それぞれ統計開始以来最長を更新した。

沖縄県内の各地点における夏(6月～8月)の平均気温

観測地点	夏の平均気温(℃)	平年値(℃)	平年差(℃)	統計開始以来の順位	夏としてのこれまでの1位		統計開始年
					平均気温(℃)	年	
那覇	29.0	28.1	+0.9	第4位タイ	29.2	2016年	1910年
名護	28.7	28.0	+0.7	第4位タイ	29.0	2016年	1967年
久米島	28.9	28.1	+0.8	第4位タイ	29.2	2016年	1959年
南大東島	28.4	27.8	+0.6	第6位タイ	29.0	1991年	1942年
宮古島	28.9	28.1	+0.8	第5位	29.3	2016年	1938年
石垣島	29.7	28.9	+0.8	第2位タイ	30.1	2016年	1897年
西表島	29.0	28.2	+0.8	第2位タイ	29.3	2016年	1954年
与那国島	29.0	28.2	+0.8	第2位タイ	29.3	2016年	1957年

平年値の統計期間は、1981～2010年。

[被害状況] 沖縄県保健医療部地域保健課、沖縄タイムスより

- ・8月の生乳生産量は前年同月比で1割減少
- ・熱中症により40代男性が1名死亡（県内での死亡例報告は2013年以来）
- ・6月～9月の熱中症発生数（沖縄県内23箇所の定点医療機関からの報告）は1,148人で、集計を開始した2007年以来最多を更新

平成29年度沖縄県熱中症発生状況(週毎)

